

題名：DX化でひらく、新しいPTAのカタチ

PTA名：大垣市立江東小学校PTA

はじめに

江東小学校PTAでは、「活動目的と現状の乖離」「保護者や教員の負担増」、そして「時代の変化への対応」というPTA活動が抱える課題に直面していました。

これらの課題を解決し、PTAがより効果的で、誰もが参加しやすい組織へと進化することを目指し、改革に取り組んでまいりました。

1. 広報のDX化：紙媒体からウェブサイトへ

江東小学校PTAは、令和4年度より広報紙のデジタル化に着手しました。

(1) 背景と課題

従来の広報紙発行には、広報委員の皆さんが多大な時間と労力を費やしていました。

具体的には、

- ① 掲載内容・デザインの検討、撮影
- ② 印刷業者との綿密な打ち合わせ
- ③ 学校と広報委員会による素案の複数回チェック
- ④ 広報紙の納品、各クラスへの割り振り

これら一連の作業のため、広報委員は仕事を休んで何度も学校に足を運ぶ必要がありました。さらに、広報委員、学校、印刷業者の三者間での煩雑な日程調整が毎回発生していました。

加えて、少子化による会員数の減少は会費収入の減少を意味し、限られた予算の中、広報紙発行にかかるコスト（3号で約30万円）は大きな負担でした。そこで私たちは、広報紙の紙発行を廃止し、ウェブサイト化することを決断。予算をかけずに実現できる方法を模索しました。



(2) 成果

広報のDX化により、以下の大きな成果を得ることができました。

① 広報予算が0円に！

Googleサイトを活用することで、専門知識がなくても無料でホームページを作成できました。これにより、年間約30万円かかっていた広報紙の予算を完全に削減。

浮いた予算は、後述する江東まつりや親子クッキングなど、子どもたちのための活動に充てることが可能になりました。

② 学校訪問回数的大幅削減！

自前でホームページを制作するため、業者との打ち合わせや学校でのレイアウト検

討が不要になりました。

コンテンツ確認は、作成したホームページのURLを学校にメールで送付するだけで完結。広報紙の納品やクラスへの割り振り作業もゼロに。

結果として、広報委員が学校に足を運ぶのは撮影時のみとなり、大幅な負担軽減を実現し、親子の家庭での過ごす時間が増えました。

③ 写真掲載の自由度が飛躍的に向上！

紙媒体では枚数制限があった写真も、ウェブサイトでは何百枚でも掲載可能に。

例えば、運動会であれば、紙媒体では自分の子どもが写っていないことがあっても、ホームページには約300枚の写真を掲載しているため、自分の子どもが写っている写真を何枚でも探せるようになりました。

また、ホームページなので、動画を掲載することも可能になりました。子どもたちの躍動する姿を見ることができます。

④ 写真のダウンロードが可能に！

広報紙のように特定の号を保管する必要がなくなり、保護者は好きな写真を自由にダウンロードでき、スマホなどで持ち出せるようになりました。

これにより、子どもたちの成長記録として写真を活用しやすくなり、保護者からも大変好評をいただいています。

⑤ タイムリーな情報発信を実現！

従来の広報紙（年3回発行）では、事業実施から情報が届くまで時間がかかりましたが、ホームページ化により実施後すぐに情報提供ができるようになりました。

印刷業者の介入がなくなったことで、広報委員は自分の好きなタイミングでホームページを更新でき、より迅速な情報共有が可能になりました。



2. PTA各種資料のDX化：より手軽な参加とスマートな情報共有へ

PTAの自前ホームページを活用することで、総会の運営と実行委員会の情報共有も大きく変わりました。

(1) 会員の皆様の来校が不要に

総会資料をホームページに掲載することで、保護者の皆様は自宅でも外出先でも、いつでも内容を確認できるようになりました。

(2) 議案への賛否はGoogleフォームで回答をいただく形式に変更。

これにより、会場設営や資料印刷にかかる役員の負担もゼロになりました。

(3) 印刷の手間と費用を削減

実行委員会の資料をPDF化し、LINEグループを通じて共有することで、役員が学校に印刷に行く手間や印刷費用をなくしました。情報共有のスピードも向上し、円滑な会議運営に貢献しています。



3. 親子クッキングの実施：予算削減の恩恵を子どもたちへ

広報紙のDX化により浮いた予算を、子どもたちのための新たな企画に活用しました。

成果：

夏休みに親子で楽しめるクッキングイベントを実施することができました。これにより、PTA活動が子どもたちにとって直接的な喜びにつながる機会を創出し、参加されたご家庭からも大変好評をいただきました。



4. 江東まつりにキッチンカー導入：地域との交流を深める

これまでの江東まつりはクジやバルーンアート等イベントのみでしたが、「飲食がほしい」という皆様からの声に応え、令和5年度からはキッチンカーをお招きしました。

成果：

キッチンカーの導入はお祭りの魅力を格段に高め、子ども達だけでなく保護者や地域の方々も一緒に楽しめる、より賑やかで魅力的なお祭りへと進化させることができました。





5. 親子プール清掃：学校を大切にする気持ちを育てよう

子どもたちが授業で使用する学校プールを親子で清掃する機会を設けました。

成果:

子どもたちが学校を大切にする気持ちを育むとともに、家庭と学校の連携を深めることができました。また、教員の皆様の負担軽減にも貢献できました。



まとめ

江東小学校PTAは、今回のDX化をはじめとする様々な改革を通じて、「PTAは大変そう」「関わりにくい」というイメージの払拭に努めてまいりました。私たちは、これらの取り組みによって、保護者の皆様、先生方の負担を軽減しつつ、PTA活動の質を高めることができたと確信しています。

私たちの実践は、PTAがこれからも持続可能で、誰もが無理なく、そして楽しく参加できる組織であり続けるための大切な一歩です。今後は、他校の先進的な取り組みも積極的に学びながら、地域や学校、保護者の皆様との連携をさらに強化し、「子どもたちのために何ができるか」を常に問い続けます。

そして、保護者、学校が一体となって子どもたちの「できた!」という成長を応援し、彼らが未来を拓く力を育ていけるよう、江東小学校PTAはこれからも進化し続けてまいります。